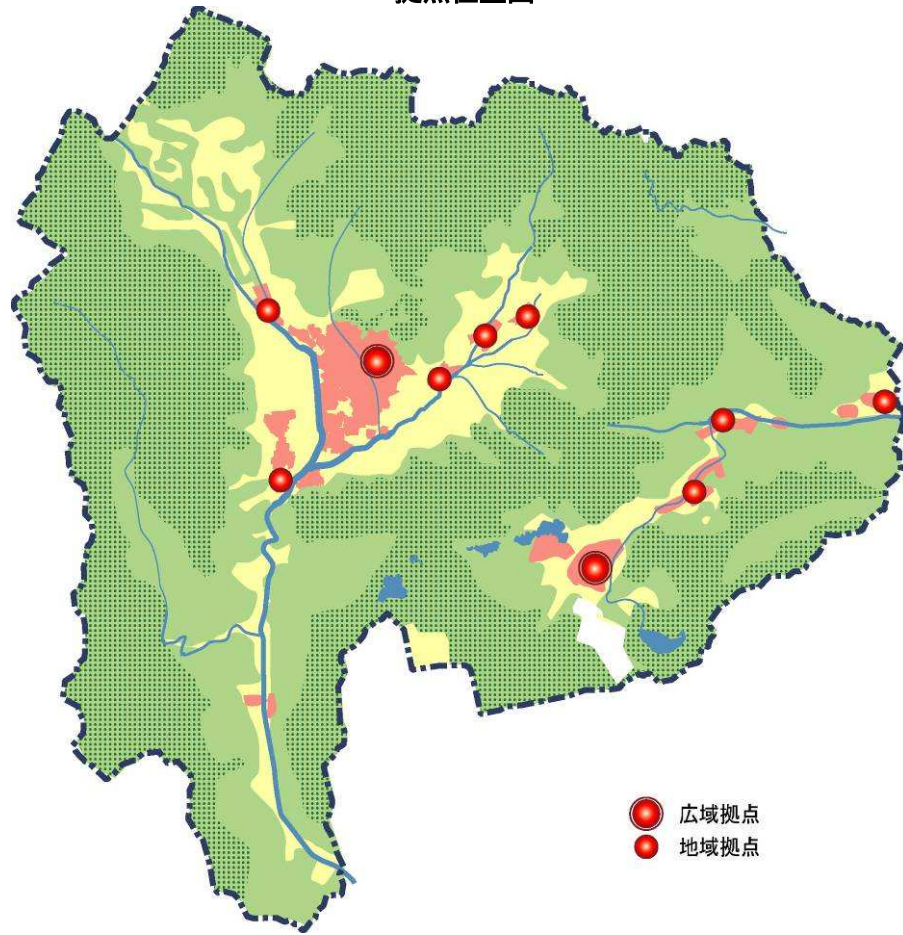
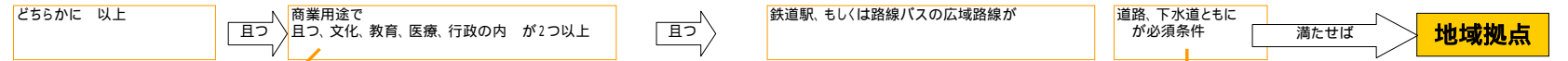


評価結果（地域拠点）

拠点位置図



● 広域拠点
● 地域拠点



広域圏域	市町村名	拠点候補地名	都市機能												交通アクセス				都市基盤ストック		参考指標	
			居住	業務	商業	文化		教育	医療	行政	鉄道		路線バス		道路	下水道	大型小売店数	IC				
			人口密度 :40人/ha以上 :40人/ha(将来 は区画整理事業等 による計画的なまちづ くりが行われている場 所)	就業者密度 :20人/ha以 上	商業系用途の有無 :面指定 :有り	文化施設 :1箇所以上	大学・短期大学、 高等学校等 :1校	2次以上救急 医療機関 :1箇所以上	国・県 :1箇所以上	鉄道駅あり :特急停車駅	市内路線 :広域路線	:5km以上	:整備済み 個別調査	1万㎡以上店舗 数 :1店以上	:ICあり :IC計画あり							
中西部	甲府市	甲府市湯村地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		中道支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		上九一色出張所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	甲斐市	竜王駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		敷島支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	中央市	塩崎駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		中央市リバーサイド地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		山梨大学医学部周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	昭和町	豊富庁舎周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		昭和町常永地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	甲府市、甲斐市、昭和町	甲府昭和IC周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	山梨市	山梨駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		牧丘支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		三富支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	甲州市	塩山駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		勝沼庁舎周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	笛吹市	大和庁舎周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		石和温泉駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		春日居町駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		一宮支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		御坂支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	市川三郷町	八代支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		境川支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		芦川支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		富士川町役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	南アルプス市	市川地区中央部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		三珠庁舎周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		六郷庁舎周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
富士川町役場周辺		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
敷沢支所周辺		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
南アルプス市役所周辺		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
八田支所周辺		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
白根支所周辺		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
若草支所周辺		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
甲西支所周辺		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
北杜市	芦安支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	北杜市役所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	明野総合支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	高根総合支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	長坂駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	大泉総合支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
南部	白州総合支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	武川総合支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	小淵沢駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
富士北麓・東部	身延町役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	身延町役場身延支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	甲斐常葉駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	早川町	早川町役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	南部町	南部町役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		南部分庁舎周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	西桂町	西桂町役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		忍野村	忍野村役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		山中湖村	山中湖村役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		富士河口湖町	河口湖駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			勝山出張所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		足和田出張所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		都留市	都留市谷村地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		大月市	大月駅周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
上野原市		上野原地区中心市街地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		秋山支所周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	道志村	道志村役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	鳴沢村	鳴沢村役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
小菅村	小菅村役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
丹波山村	丹波山村役場周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

● 地域拠点

■ 地域拠点の条件に合致

■ 地区拠点の条件に合致

ウ.まとめ

各指標に基づく評価の結果、山梨市駅周辺、塩山駅周辺、石和温泉駅周辺、韮崎駅周辺、富士川町役場周辺、都留市谷村地区、大月駅周辺、上野原地区中心市街地については、条件をすべて満たすことから地域拠点として選定する。

ここで位置づけた地域拠点については、都市圏域の自立を支え、牽引する場所として今後もその拠点性を保持するため、積極的に既存ストックの更新や新たな基盤整備、生活圈や経済活動の広がりに応じた都市機能の集約化、広域的な交通アクセスの維持・強化を図る。

一方、本県には、広域拠点や地域拠点には及ばないものの、都市機能や人口の集積状況からみて、広域的な位置づけが必要な市街地が存在することから、これらを拠点の他に以下のような地区として位置づける。

既存都市機能立地地区

都市機能補完地区

《参考》広域拠点

市町村名	拠点候補地名称	拠点の評価結果															
		都市機能							交通アクセス				都市基盤ストック		参考指標		
		居住	産業	商業	文化	教育	医療	行政	鉄道		路線バス		道路	下水道	大型小売店数	IC	
		人口密度 :40人/ha以上 :40人/ha(将来) は区画整理事業等による計画的なまちづくりが行われている場所	就業者密度 :20人/ha以上	商業系用途の有無 :面指定 :有り	文化施設 :1箇所以上	大学・短期大学、高等学校 :1校	2次以上救急医療機関 :1箇所以上	国・県 :1箇所以上	鉄道駅あり	特急停車駅	市内路線	広域路線	:5km以上	:整備済み 個別調査	1万㎡以上店舗数 :1店以上	:ICあり :IC計画あり	
甲府市	甲府駅周辺															-	
富士吉田市	富士吉田市中心市街地																-

広域拠点

広域圏域	市町村名	拠点候補地名	拠点の評価結果														
			都市機能						交通アクセス				都市基盤ストック		参考指標		
			居住	業務	商業	文化	教育	医療	行政	鉄道		路線バス		道路	下水道	大型小売店数	IC
			人口密度 :40人/ha以上 :40人/ha(将来) は区画整理事業等 による計画的なまちづ くりが行われている場 所	就業者密度 :20人/ha以 上	商業系用途の有無 :面指定 :有り	文化施設 :1箇所以上	大学・短期大学、 高等学校等 :1校	2次以上救急 医療機関 :1箇所以上	国・県 :1箇所以上	鉄道駅あり	特急停車駅	市内路線	広域路線	:5km以上	:整備済み 個別調査	1万㎡以上店舗 数 :1店以上	:ICあり :IC計画あり
中西部	甲斐市	竜王駅周辺				-	-	-	-							-	-
	中央市	中央市リバーサイド地区				-	-	-	-							-	-
		山梨大学医学部周辺				-	-	-	-							-	-
	昭和町	昭和町常永地区				-	-	-	-							-	-
	甲府市、甲斐市、昭和町	甲府昭和IC周辺				-	-	-	-							-	-
	市川三郷町	市川地区中央部	-	-		-	-	-	-							-	-
	南アルプス市	南アルプス市役所周辺	-	-		-	-	-	-							-	-
北杜市	長坂駅周辺	-	-		-	-	-	-							-	-	
南部	身延町	身延町役場身延支所周辺	-	-		-	-	-	-						-	-	
富士北麓・東部	富士河口湖町	河口湖駅周辺	-	-		-	-	-	-						-	-	

既存都市機能立地地区
都市機能補完地区
地域拠点の条件に合致
地区拠点の条件に合致

<地域拠点に準ずる地区>

広域拠点、地域拠点は一定の都市基盤ストック上に複合的な都市機能や広域的な交通アクセスを有し、一定の人口（定住人口もしくは従業人口）の集積がある場所であり、今後もその拠点性を保持する必要性があると認められる場所である。また、本県には地域拠点には及ばないものの、都市機能や人口の集積状況からみて広域的な位置づけが必要な市街地が存在するため、これらを以下のように位置づける。

既存都市機能立地地区

人口の集積状況については地域拠点に及ばないものの、本県の実現に寄与してきた市街地で、一定の交通アクセスを有し、地区内に地域拠点と同程度の都市機能が集積しており、今後もその都市機能の維持が求められる地区。

既存都市機能立地地区の区域は、地域拠点に準じて設定する。

都市計画区域内

- ・南アルプス市役所周辺地区、市川地区中央部地区、身延町役場身延支所周辺地区、河口湖駅周辺

都市計画区域外

- ・長坂駅周辺地区

都市機能補完地区

土地区画整理事業などの計画的なまちづくりが既に行われ（又は計画が策定され）昼夜間ともに相当な人口の集積があり（又は集積を目指しており）十分ではないものの既に一部の都市機能が立地し、現状として広域拠点や地域拠点を補完する役割を果たしている地区。拡大成長を前提とした都市構造から持続可能な都市構造への転換期において、当面、広域的都市機能の受け皿とする。なお、当面の位置づけとすることから、県土構造には記載しない。

都市機能補完地区の区域は、都市基盤整備の見通しや都市機能の集積の見通し等に応じて地区毎に設定する。

駅周辺型

- ・竜王駅周辺、石和温泉駅周辺

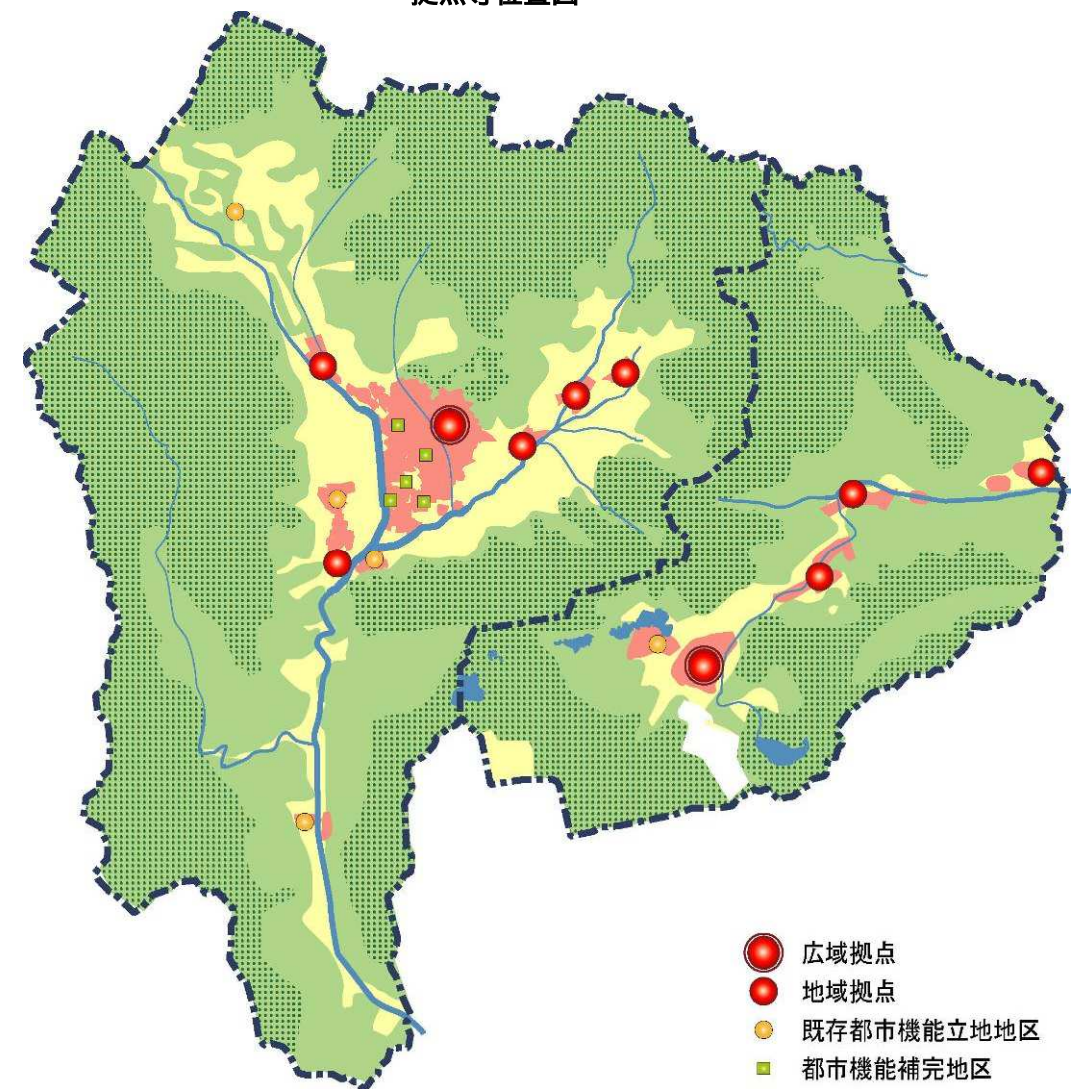
沿道商業型

- ・甲府昭和IC周辺

新市街地型

- ・中央市リバーサイド地区、昭和町常永地区、山梨大学医学部周辺

拠点等位置図



● 広域拠点
● 地域拠点
 既存都市機能立地地区
 都市機能補完地区

2 - 3 . 軸

1) 軸の位置づけ

県土構造に位置づける軸とは、拠点どうしや拠点と県外を結び、その機能としては以下のようなものが求められ、これを強化していくことで、「やまなし都市づくりの基本方針」に示すような県土の実現を図るものとする。

機 能 交流、連携、支援

目 的 行政、経済、産業、文化、教育、医療、スポーツ、観光、娯楽、物流、研究開発、避難路、復興支援

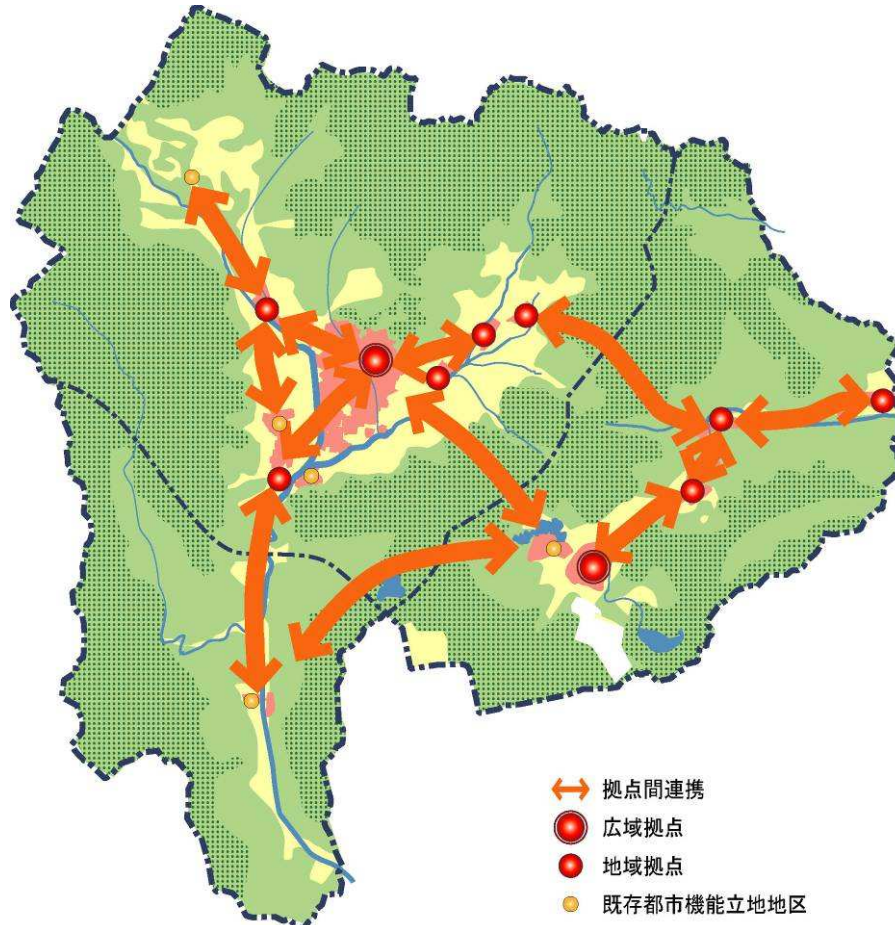
構成要素 (高規格)幹線道路、鉄道、情報通信

リニア中央新幹線(仮称)については、具体的な内容が明らかになった時点で、都市計画上の位置づけを行うこととする。

2) 軸の選定

拠点(各地区が持つ都市機能)間連携のイメージや、観光資源・歴史文化資源の分布及び交通ネットワークの状況等を踏まえ、県土構造に位置づける軸を選定した。

A : 拠点間連携のイメージ

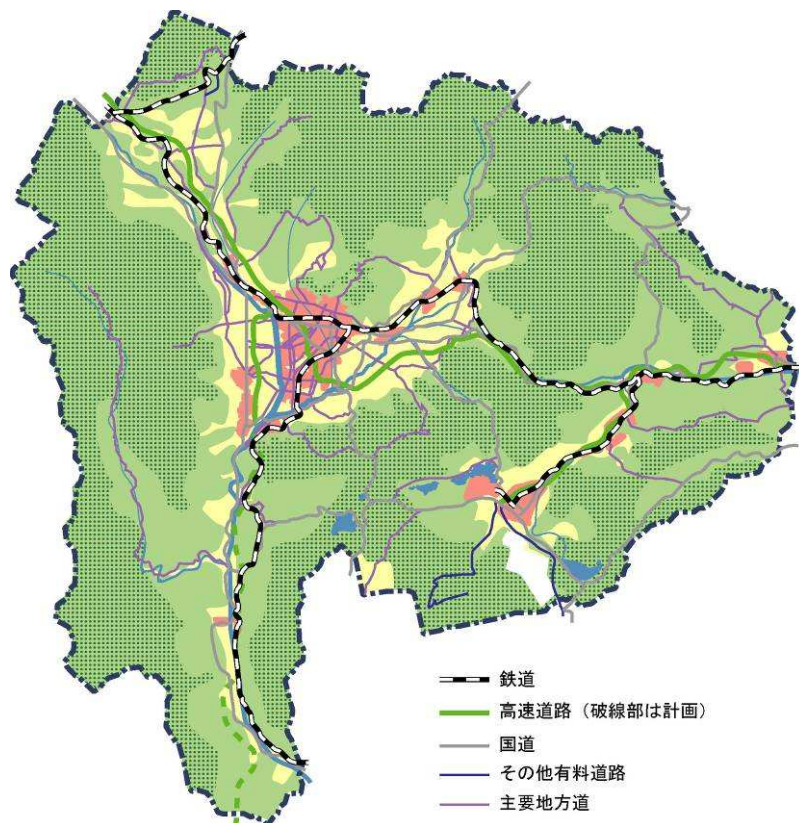


注) この図は拠点間連携のイメージを示したものであり、必ずしも具体的な連携を示すものではない

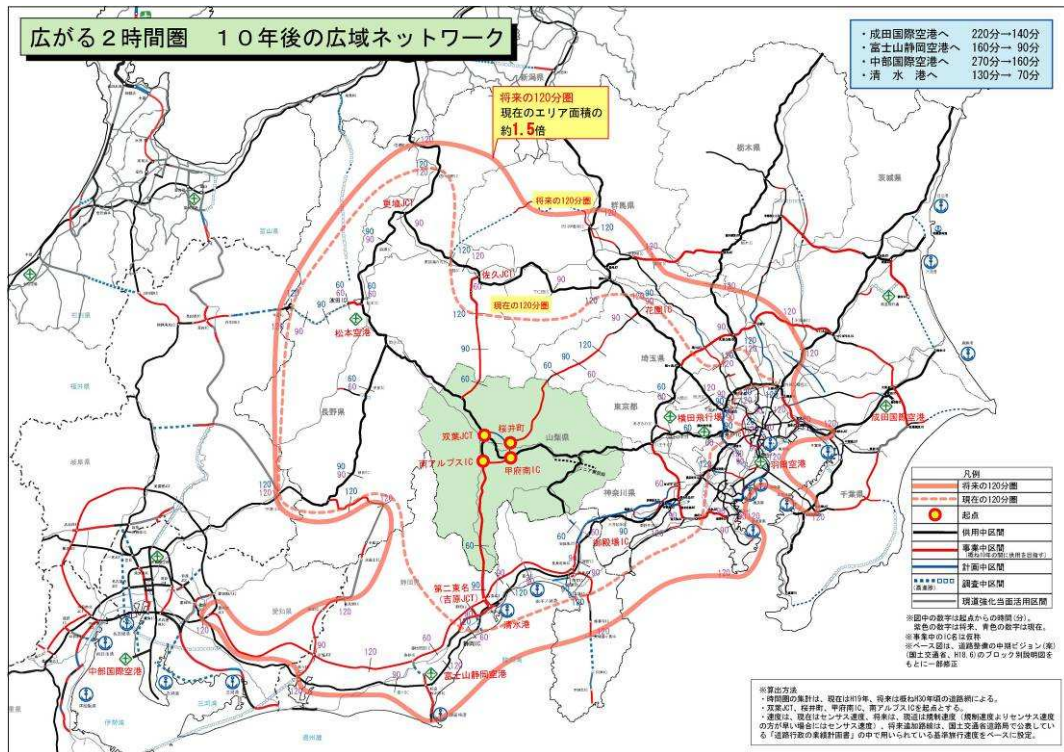
B : 観光・歴史文化資源



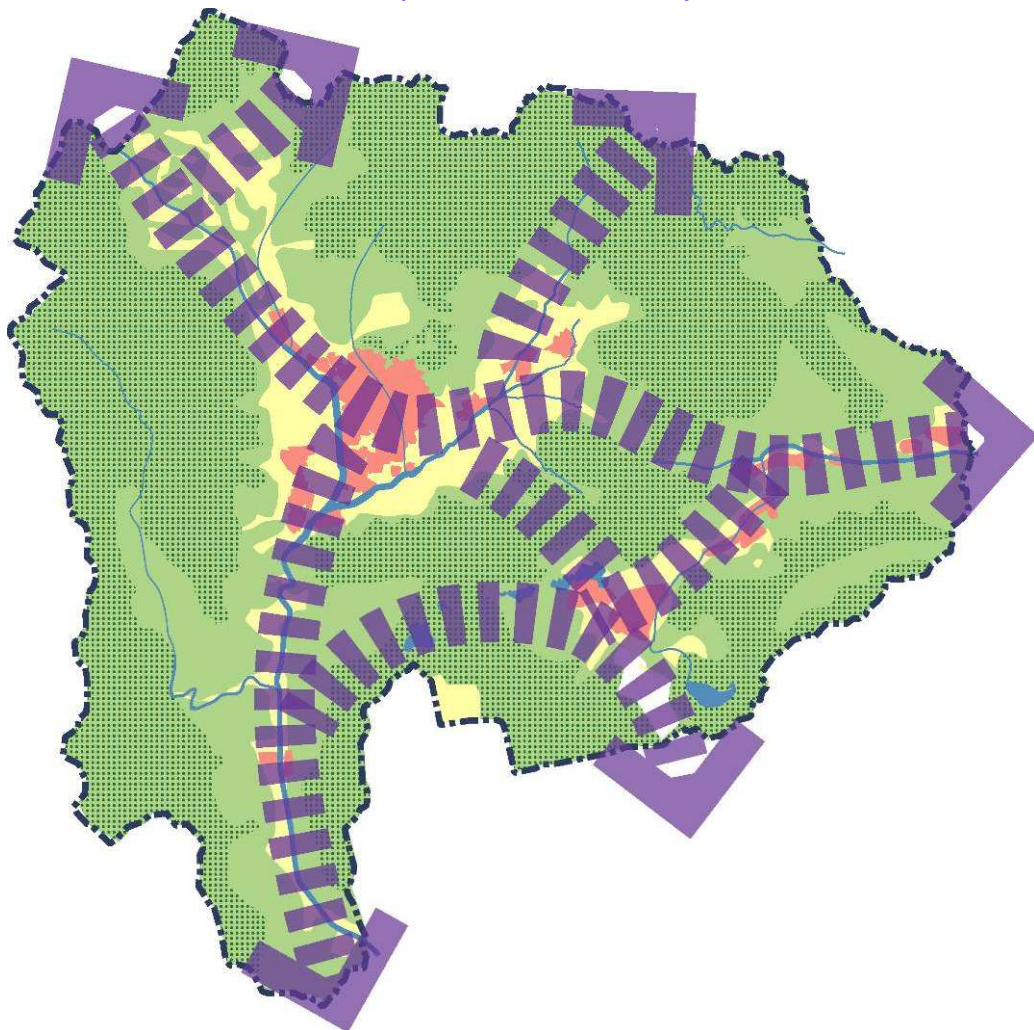
C : 交通網



D：高規格道路網



軸 (A + B + C + Dより)



2 - 4 . 土地利用区分

1) 土地利用の構成

本県の主な市街地は盆地や河川沿い、山麓といった比較的勾配の緩やかな場所に形成され、発展してきた。それを取り巻くように農地が広がっており、果樹栽培に代表されるような日本でも有数の農業が営まれ、農地が田園や丘陵といった本県の豊かな景観・自然資源の一つとなっている。その農地や市街地を、人々が身近に自然を感じられる里山や林業を支えている森林が取り囲み、さらに富士山や八ヶ岳、南アルプスといった国立・国定公園に指定されるような豊かな自然や急峻な山々がそれらを取り囲んでいる。

このような本県の土地利用の特性を踏まえ、目指すべき県土構造では、土地利用を下図に示す3地域に区分し、市街地 農業・共生地域 森林・共生地域と、拠点から郊外さらには周辺の山地に向かい、多様な土地利用が相互に調和しながら連なる土地利用を目指す。

本県の土地利用形態のイメージ



2) 土地利用区分

市街地

市街地（市街化区域、非線引き都市計画区域の用途地域）として都市的土地利用を図るべき地域であり、都市機能、居住機能、産業業務機能等の適切な配置と密度構成、土地利用の規制誘導や都市基盤の整備等を通じて、それぞれの土地利用にふさわしい市街地環境の形成を図る。また、必要以上の市街地拡大を抑制し、農地や森林などの土地利用との健全な調和を目指していく。

農業・共生地域

市街地周辺の開発圧力の高い地域を含む農業集落地域で、長期にわたって保全すべき優良な農地と、住宅敷地などの都市的土地利用と農地が共存する農村集落を中心とする地域があり、農業振興地域整備計画等と協調しながら、良好な農地等の保全や、居住環境と営農環境の共存を図る。

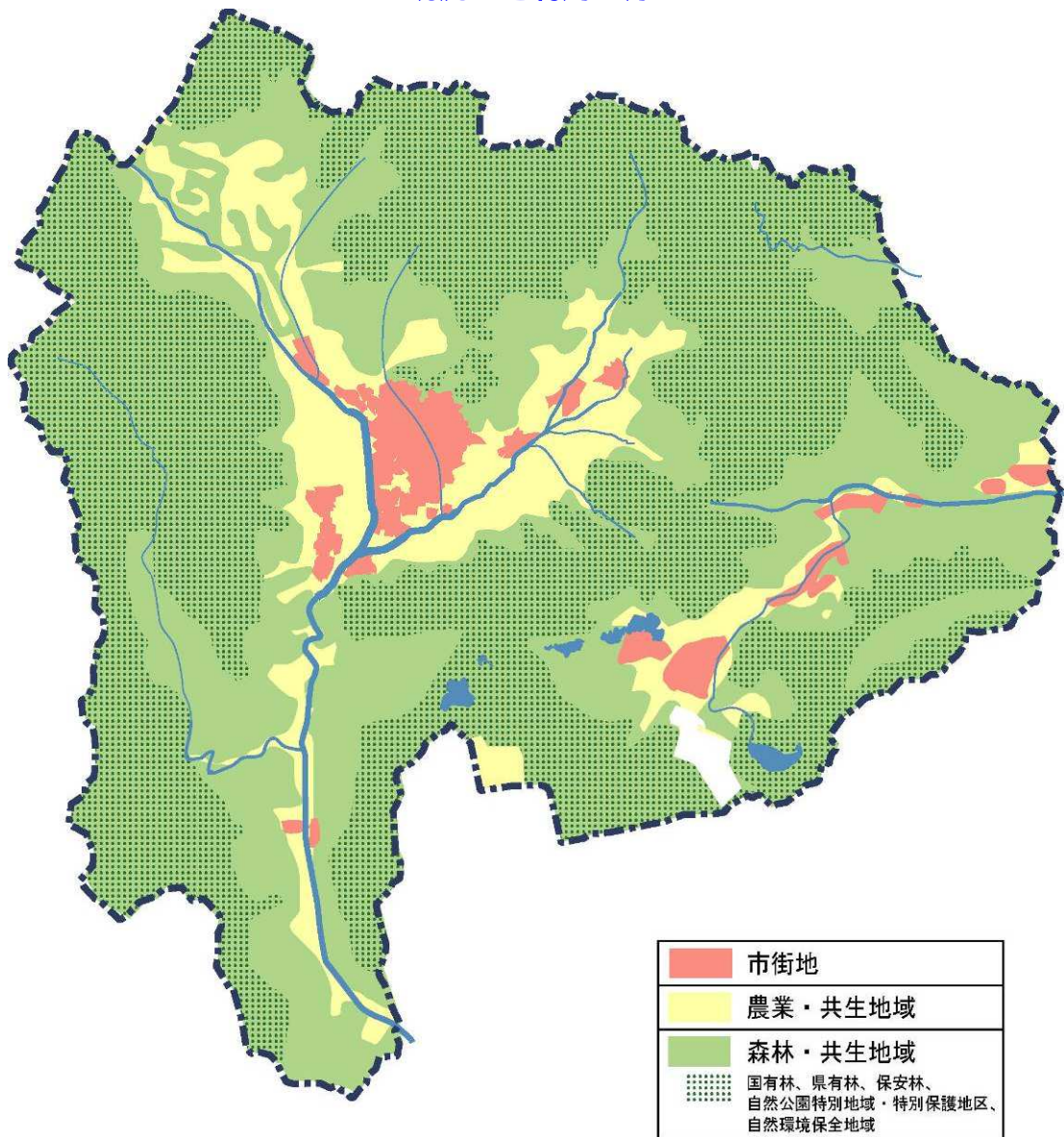
森林・共生地域

比較的市街地から離れており、法規制や土地所有者の状況により適切な環境保全が図られている地域(国有林、県有林、保安林、自然公園特別地域・特別保護地区、自然環境保全地域)については、この地域に含まれる豊かな自然や山並みを地域森林計画、自然公園の公園計画等に沿って保全していく。

主な土地利用が森林となっている地域のうち集落に接した森林や観光地などで、良好な自然環境を有しながら開発に対する規制が緩い地域は、適切な環境保全が求められるため、地域森林計画等と協調しながら環境や景観の保全に配慮しつつ、都市的土地利用との調和のとれた適切な土地利用を図る。

《参考》

現況土地利用区分



白抜き部分は北富士演習場

2 - 5 . 広域圏域

1) 広域圏域の位置づけ

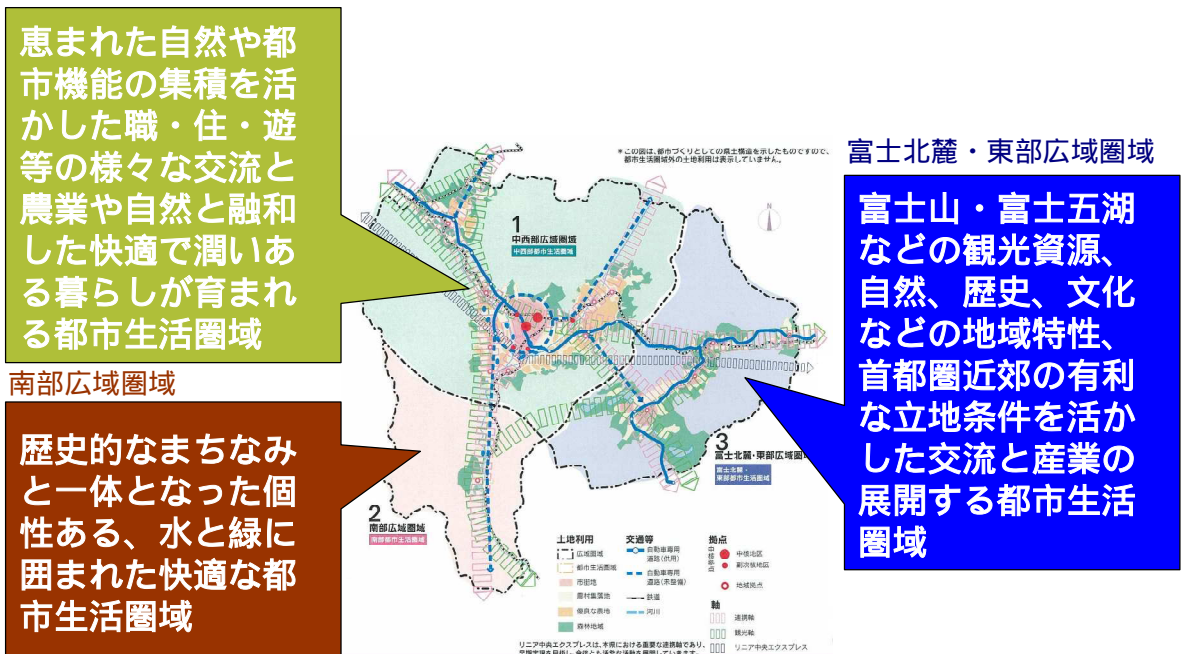
広域圏域とは、行政区域を越えて広域化している人々の都市活動の範囲であり、都市間の役割分担や連携を図り、人々が多様な都市的サービスが受けられる単位と位置づける。

2) 広域圏域の構成

平成 15 年に策定された現行の「山梨県都市計画区域マスタープラン基本構想（やまなし 21 世紀都市ビジョン）」における広域圏域

現行都市計画区域マスタープランの基本構想である「やまなし 21 世紀都市ビジョン」では、県土を 3 つの広域圏域に区分し、それぞれの圏域における目標を定めている。

中西部広域圏域 「やまなし 21 世紀都市ビジョン」で示されている広域圏域



）広域圏域の捉え方の検討

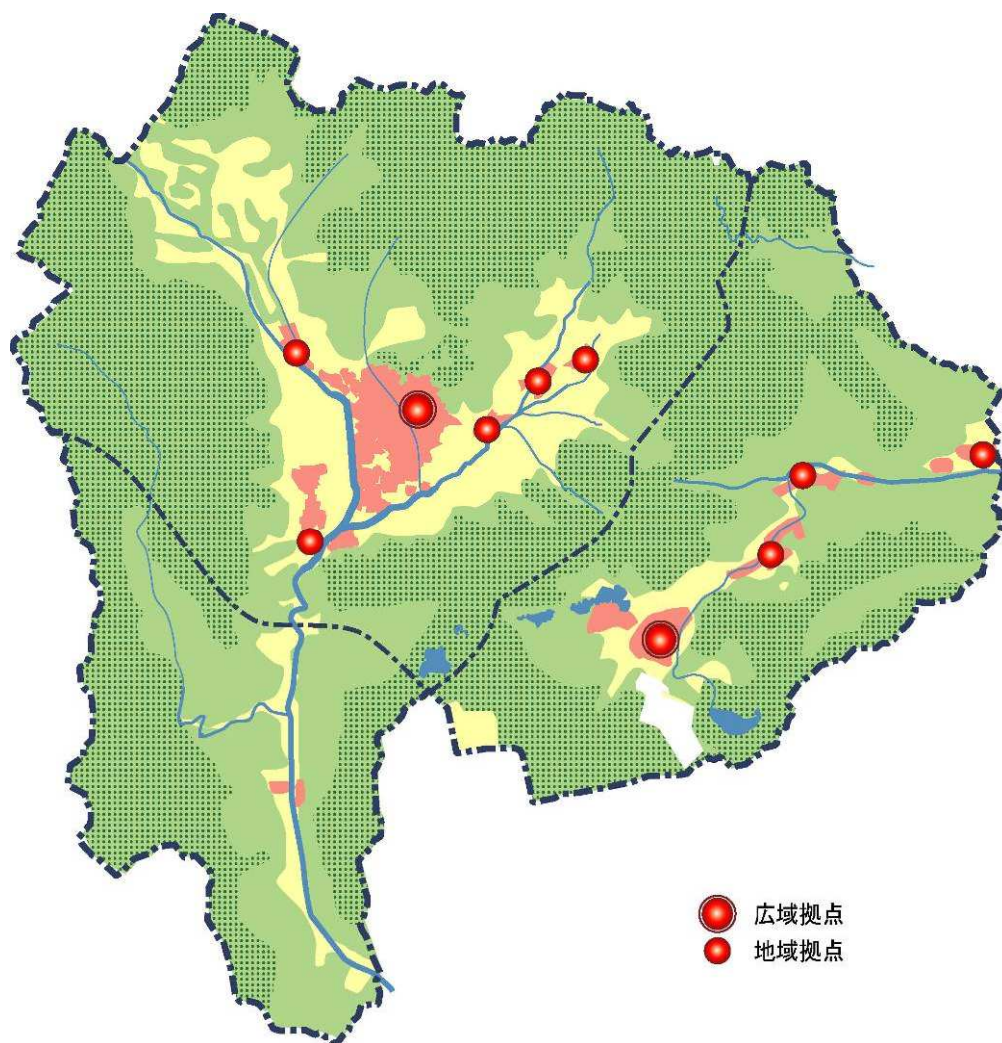
人々の生活圏が広がる中、拠点間の役割分担や連携を図り、業務、医療・福祉、教育・文化、研究開発、国際交流、商業等の高度で多様な都市的サービスが受けられる、人々が安全・安心で暮らしやすい広域圏域を捉えるため以下の視点により検討する。

- 拠点の配置の状況
- 地勢の状況
- 日常生活圏

ア．拠点の配置の状況

「やまなし 21 世紀都市ビジョン」で示されている 3 つの広域圏域のうち、南部については、圏域内に広域拠点を位置づけることは困難な状況である。また、拠点間の連携を前提としても、独立した広域圏域を形成するために望まれる都市機能の多様性の確保は難しい状況にあると考えられる。

拠点の配置の状況



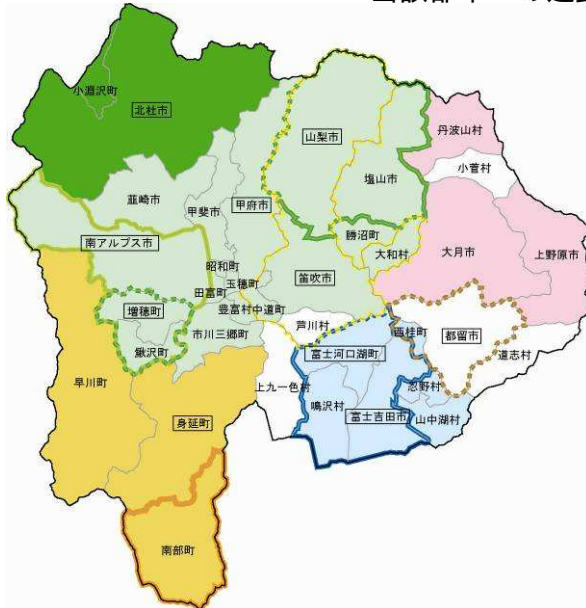
注)--- は、「やまなし 21 世紀都市ビジョン」で示されている 3 つの広域圏域を示す。

ウ．日常生活圏域

通勤圏

広い甲府市への通勤圏と山梨市、笛吹市、南アルプス市等への通勤圏が重なり合うような状況と、北杜市の通勤圏から構成されている。南部は身延町への通勤圏、富士・東部は富士吉田市への通勤圏のほか、南部町は静岡県への通勤圏、上野原市・大月市は東京都への通勤圏となっている。

当該都市への通勤圏（H17）



通勤圏

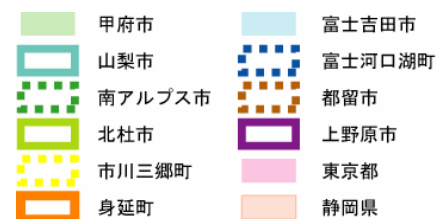
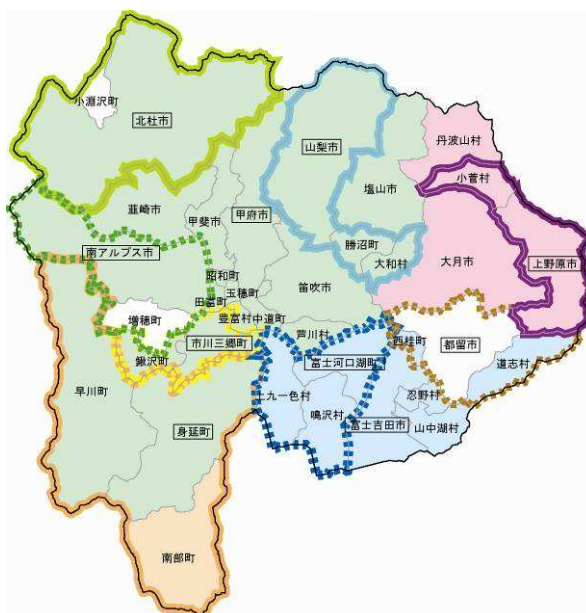
15歳以上の就業者のうち10%以上が当該通勤圏の中心都市へ通勤している圏域

出典：国勢調査

通学圏

甲府市への通学圏は、中西部のほか、南部の身延町、早川町を含む広い区域となっている。また、上野原市、大月市、小菅村、山中湖村は東京都への通学圏、南部町は静岡県への通学圏となっている。

当該都市への通学圏（H17）



通学圏

15歳以上の通学者のうち10%以上が当該通学圏の中心都市へ通学している圏域

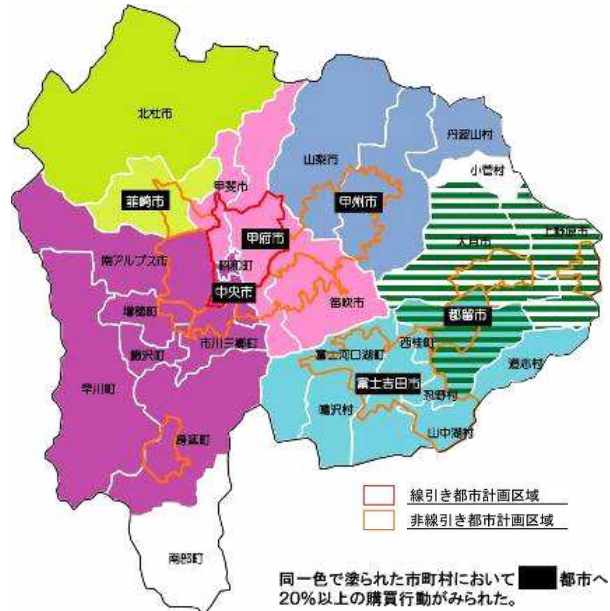
（通学先の市町村のうち上位2位までを抜粋）

出典：国勢調査

商圏

近年の商圏の状況を見ると、中西部においては、甲府市の吸引力が低下し、中央市、韮崎市、甲州市を中心とする新たな商圏が形成されている。一方、富士・東部では、富士吉田市、都留市を中心とした商圏が継続して形成されている。

商圏（H19）



出典：山梨県商圏実態調査

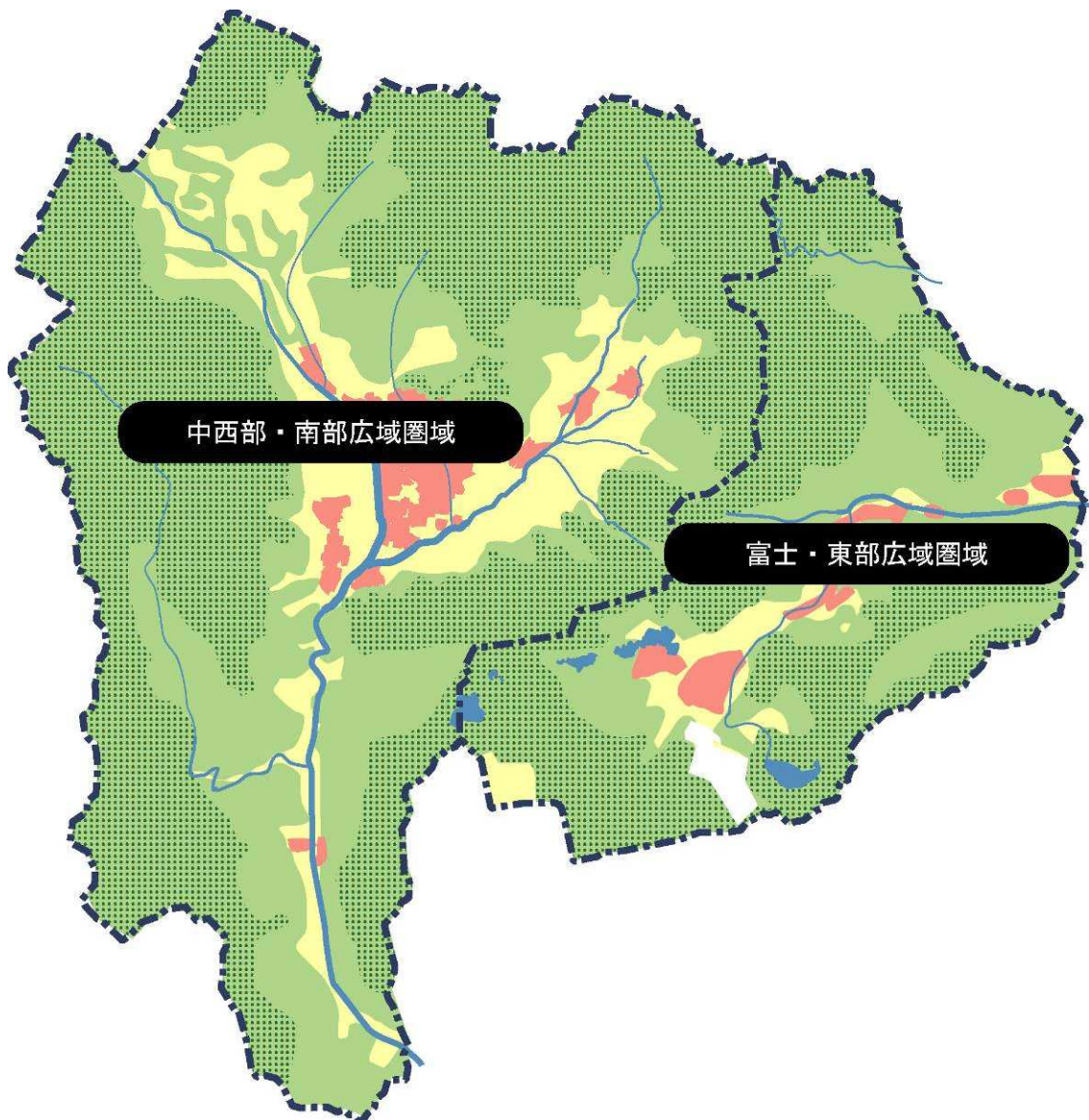
エ．まとめ

「やまなし 21 世紀都市ビジョン」で示されている 3 つの広域圏域のうち、南部については、圏域内に広域拠点位置づけることは困難な状況である。また、拠点間の連携を前提としても、独立した広域圏域を形成するために望まれる都市機能の多様性の確保は難しい状況にあると考えられる。また、地勢や日常生活圏等をみても、中西部と南部には密接な結びつきが見られ、さらに、中部横断自動車道の整備により時間距離が大幅に短縮される見込みである。

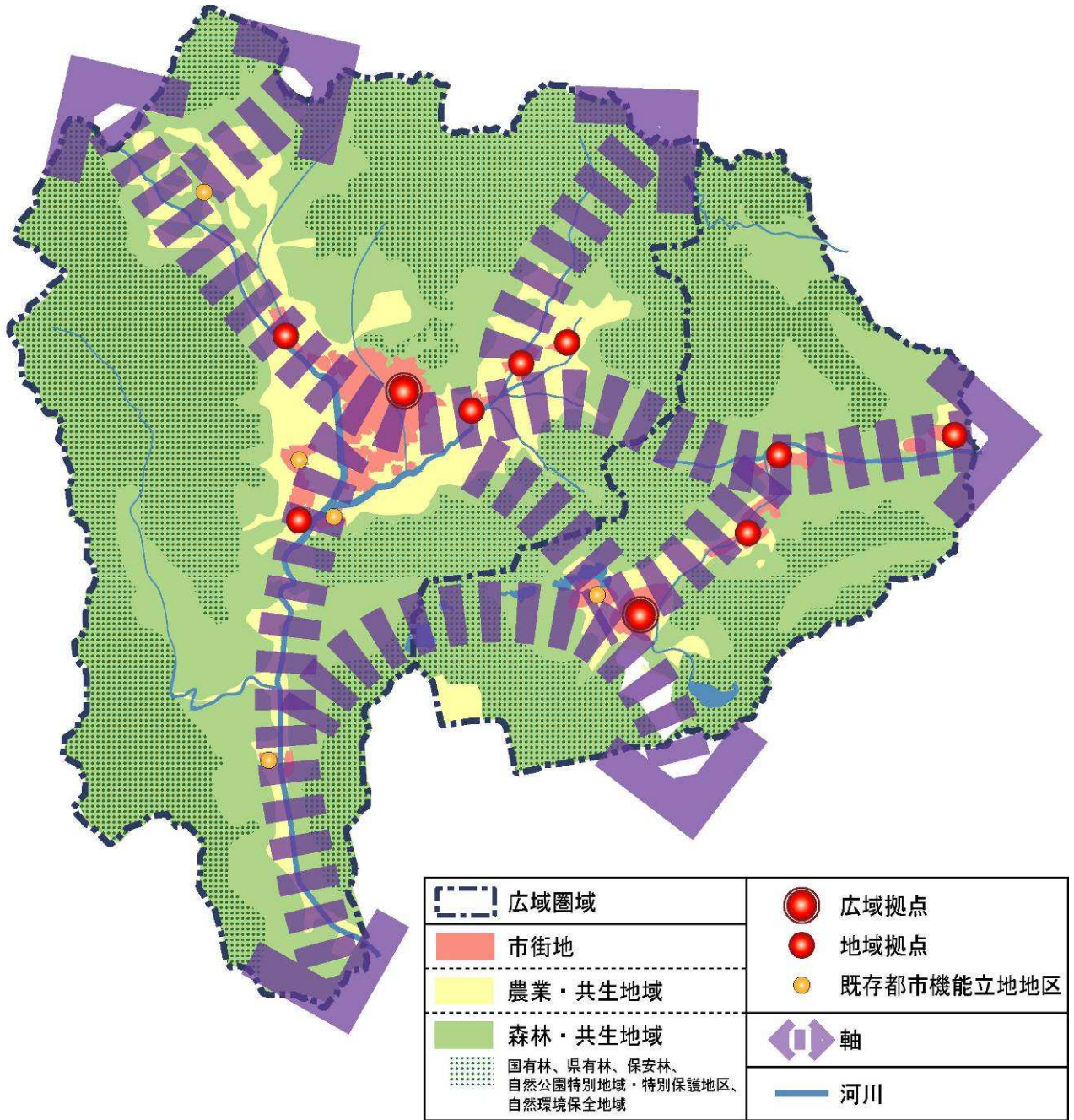
一方、富士北麓・東部圏域については、中西部や南部との密接な結びつきは見られない。

以上を踏まえ、目指すべき県土構造における広域圏域は、「中西部・南部広域圏域」と「富士・東部広域圏域」の 2 圏域とする。

広域圏域



3. 目指すべき県土構造



注) この図は目指すべき県土構造の概念を示したものであり、必ずしも具体的な計画等を示すものではない。